

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	小樽ドローン協会			
事 業 名	2019 年度小樽ドローン体験教室			
実 施 期 間	2019 年 8 月 15、16 日 2020 年 1 月 6、14、16 日			
事業の目的及び期待する効果	<p> 本事業では、小樽市民を対象に正しいドローンの理解と普及を目的としてドローン体験教室を行うものとする。 操縦体験のほか、関連法令知識を含む座学の実施により市民のドローンへの理解を深めることで、観光・産業・防災などへの利活用を促進する効果が期待できると考える。 </p>			
実 施 額	事業費	191,345 円	助成額	188,315 円
事 業 内 容	<p> 義務教育の夏休み・冬休み期間中に、子どもを中心とし、一般・事業者向けにドローンを知ってもらうための体験教室を開催。1 部 90 分とし、計 8 部を実施。各部の前半 30 分弱を航空法その他関連法令の概要や、ドローンの仕組みについての解説する座学にあて、後半に 60 分程度の操縦体験を行う。 操縦体験には小型のドローンを用い、安全性が高く、老若男女が楽しめるように間口を広くした。 また、ゲートやリングなどの障害物を導入し、ただ飛ばしてもらうだけでなく、より高度な操縦体験をしてもらえるよう工夫した。 </p>			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

◎事業の日程について

2 / 2

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
2019/8/15	いなきたコミュニティセンター(午前・午後)	20人	26人
2019/8/16	おたる自然の村(午前・午後)	20人	20人
2020/1/6	おたる勤労青少年ホーム(午前・午後)	10人	2人
2020/1/14	いなきたコミュニティセンター(午後)	10人	3人
2020/1/16	いなきたコミュニティセンター(午後)	10人	7人

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

各部平均 7～8 名ほどに参加いただき、特に夏季は各部満員となり、盛況だった。操縦体験においては障害物などを配置したことにより、目的・目標をもって操縦していただけた。また、スライドを用いた法規等の座学も好評で、昨年度と比べ、より充実した内容の体験教室にできた。

しかしながら冬季の開催では会場の予約に難航し平日開催となってしまったため、集客が難しく、想定のお半分以下の参加者しか集められなかった。会場の早期予約や開催日の設定の仕方、周知の方法など、反省点が残った。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

アンケートを行った結果、9割以上の参加者に「楽しかった」「また参加したい」という旨の回答をいただき、参加者の満足度は高かったと考える。参加できなかった方からも「次回は参加したい」など、好意的なレスポンスが多かった。

また、当初ターゲット層として小学校中学年～中学生ぐらい応募が多数と想定していたが、実際には小学生～90代のご年配まで幅広い年代に満遍なく参加いただけた。

3. 今後の事業について

過去2年間の参加者が、「趣味や事業でのドローンの本格的利用を目的とした大人の参加者が予想より多かった」といった経験を踏まえ、来年度以降は、本年度よりも座学の時間を拡充した「小型・中型両方のドローンを用いた体験&講習会」といった形式で継続していこうと考えている。天候による不履行を避けるため、本年度と同じく屋内での開催を前提で計画。

また、内容を濃くするため、夏季 or 秋季に1～2日間の開催を想定中。